

評価者	市民活動部	小池 忠紀
-----	-------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	技能振興の充実
目標とすべきま ちの姿	技能者がもつ専門的な技能により市民生活がより豊かになっています。その専門性を生かした市内事業者が、日常生活における市民のニーズにこたえることで、市民生活の向上に貢献しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	28.5%	平成27年度	32.0%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.6%	0.9%	0.0%
ちょうどよい	0.9%	45.7%	0.9%
効果不十分	1.7%	1.9%	11.4%

平成26年度

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.6%	0.4%	0.3%
ちょうどよい	1.1%	41.3%	1.9%
効果不十分	2.1%	3.1%	10.7%

平成27年度

<妥当性の分析>
少ない予算で事業を展開しているため、事業の効果と予算とが「ちょうどよい」評価を受けている。

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	15.6%	46.0%	4.0%	34.4%	100.0%
平成27年度	17.5%	40.8%	3.9%	37.9%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

技能者表彰により優秀な技能者を顕彰し、技能者の社会的地位及び技術水準の向上に努める。
技能祭を実施し、広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出する。
技能職団体連絡協議会と連携し、小中学校での技能披露の機会を設ける。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
市民-27 技能振興事業	435	378	2,733	4,995	0.3	0.6	b	B

(3) 主な実施内容

【主な実施内容】
技能者表彰を実施した。
技能祭を実施した。
小中学校へのボランティアでの植木の剪定を実施した。

【実施できなかった事業とその理由等】

(4) 平成27年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>			
限られた予算の中で、技能職団体の人的資源を活用し、事業にあたった。			

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

今後も技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上を図るため、優秀な技能者への表彰を行い、技能祭で技能を披露するとともに、後進の育成のため、多くの小中学校で技能の実演を行っていく。

4 平成28年度の目標

技能者表彰により優秀な技能者を顕彰し、技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上に努める。
 技能祭を実施し、広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出する。
 技能職団体連絡協議会と連携し、小中学校での技能体験の機会を設ける。

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	市民-27	事業名	技能振興事業							
指標の内容	技能者表彰受賞者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
優秀な技能者の増加は市民生活の向上に寄与するため	目標値	32	32	32	32	32	32			
	実績値	22	16							
	達成率	68.8%	50.0%							

参考 前年度外部評価結果への対応

<p>鎌倉市民評価委員会からの指摘</p> <p>・技能者の経済的、社会的地位の向上、また、技術水準の向上を図るべきである。</p>	⇒	<p>指摘への対応、コメント等</p> <p>技能祭や技能者表彰を行うことで市民に技能職の必要性について認識してもらうとともに、技能者の技術向上に役立っていると考えます。</p>
---	---	--

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・技能祭を実施し、広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出している。また、技能者表彰により優秀な技能者を顕彰し、技能者の社会的地位及び技術水準の向上に努めている。技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るための、長期的・継続的な長いスパンの取組として評価できる。鎌倉市の将来にとってよい事業と考えられる。
- ・小中学校での技能体験など、直で触れ合える機会を設け、後進の育成に努めている。
- ・技能者への興味関心度を図るための試みとして小学校への植木剪定を実施した。

		評価の内訳					⇒	委員会の評価
取組	↗	2	↘	1	→	5		→
効果	○	1	△	2	—	5	—	

《課題》

- ・技能者がもつ専門的な技能と市民生活の関わりについて、具体的な例、期待されるイメージ等が分からない。
- ・技能者への表彰は技能振興の一端を担っているのだろうが、それだけでは不十分である。また、技能振興の充実がどう市民生活に還元される事業なのかが分からない。
- ・技能者への取組(表彰・技能祭・小学校へのボランティア)は悪くはないのだが、実際に彼らの仕事数につながっているのかはよく分からない。これらの取組が、市民への周知として効果的なのかは疑問である。

《提言》

- ・技能者が少なくなっていく時代、鎌倉ならではの技能者を育成して欲しい。
- ・技能者のレベル、人口増が鎌倉市民に何らかの形で寄与されるものとなるよう、さらなる工夫が重要である。
- ・市民への周知を進めるべきである。
- ・若年技能者の減少は長期的な課題であり、継続的な長い時間をかけた取組が重要である。